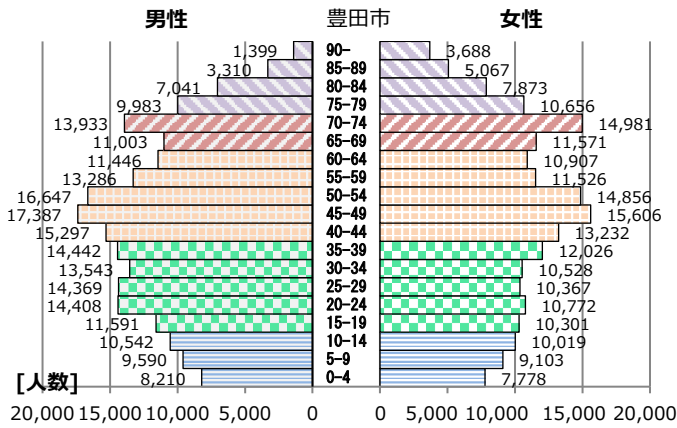


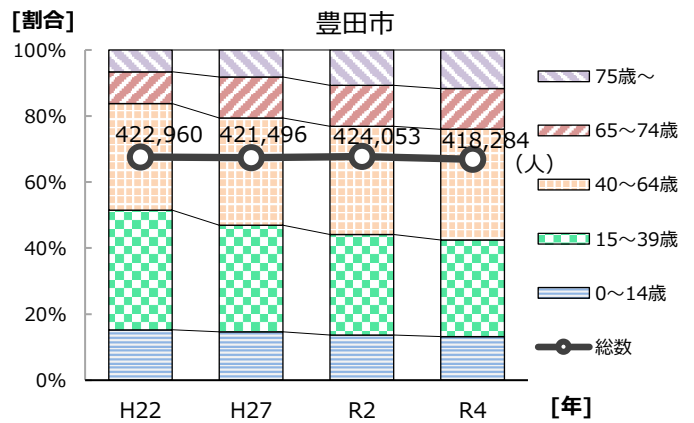
高岡中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



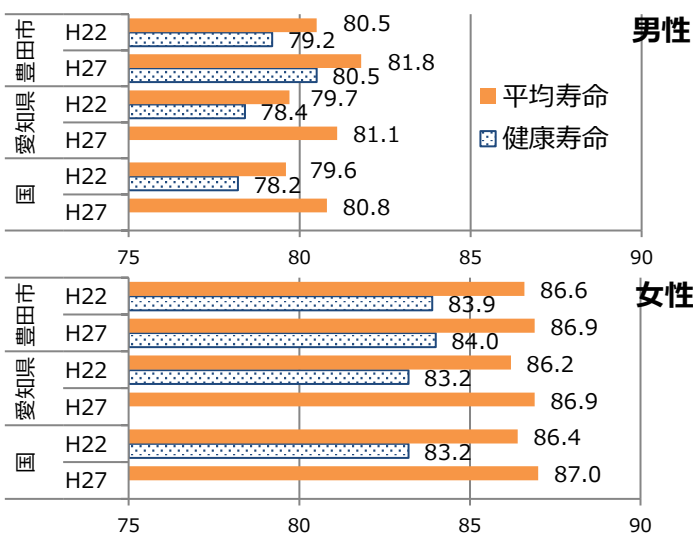
②人口推移 (各年4月1日)



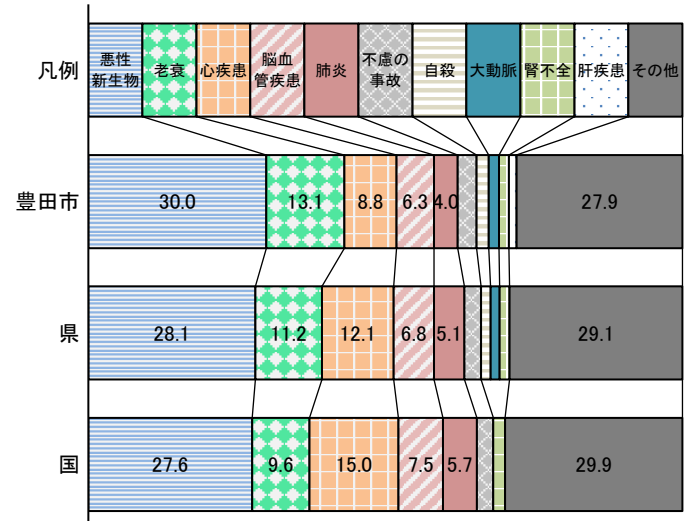
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性217,427人、女性200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

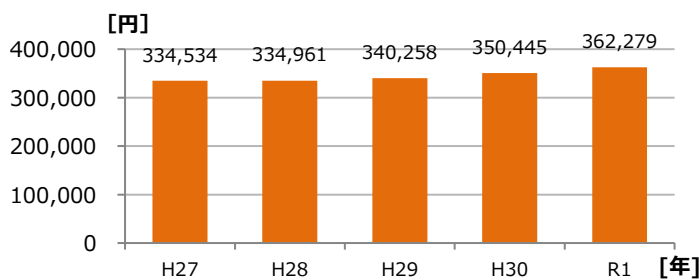


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

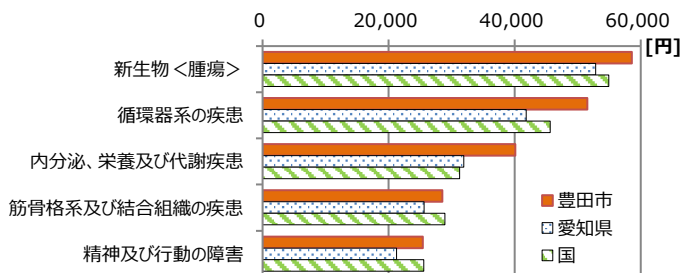


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

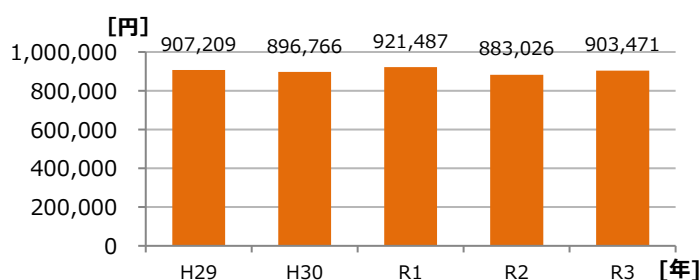


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

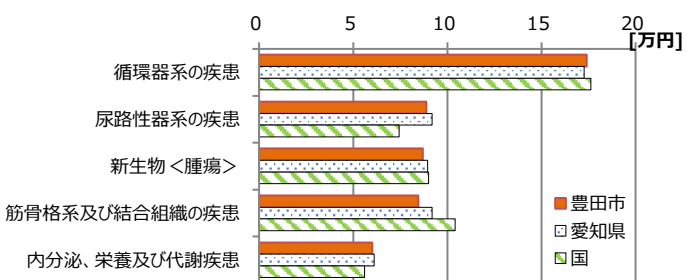


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

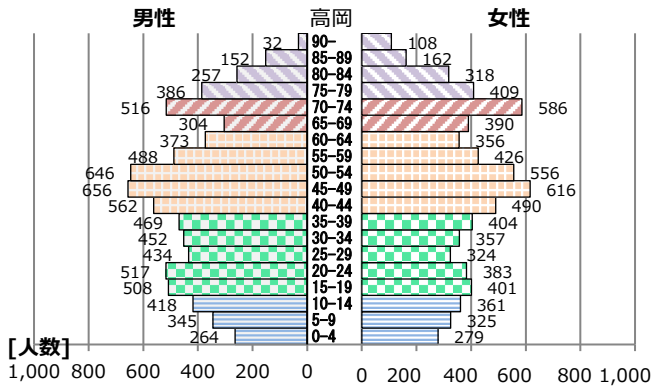


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

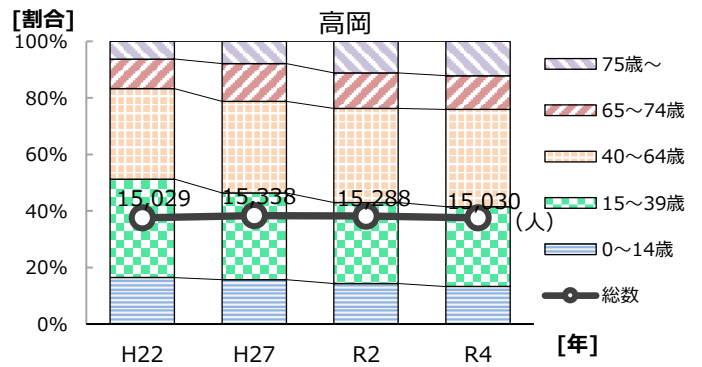


● 高岡地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



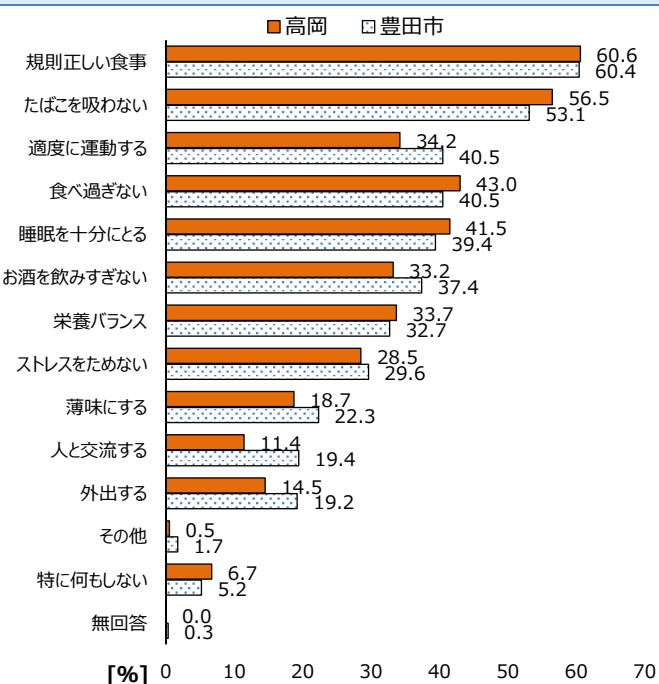
・総人口：15,030人（男性7,779人、女性7,251人） ・世帯数：6,394 ・高齢化率：24.1%
 ・要介護認定率：14.2%（令和4年10月1日） ・外国人：766人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

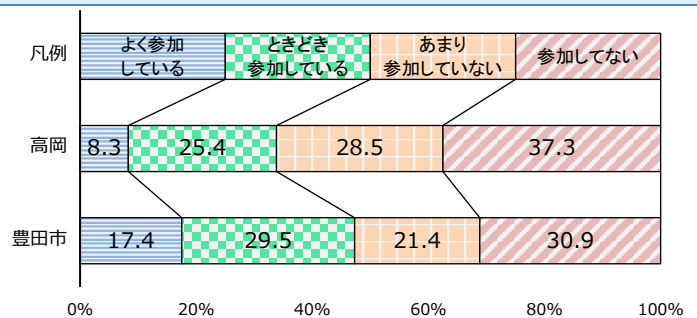
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・4自治区
地域課題解決事業	地震災害に強い防災事業(防災対策)、安全・安心なまちづくり「通学路の交通安全対策」(交通安全)、高美町桜並木の保存(環境対策)、青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動(防犯対策)
交流館	・自主グループ54グループ(うち健康・スポーツは9グループ) ・わかばやしカフェ(毎月第2・3・4金曜日 午前10時～13時)・もこもこクラブ(月1回 10時～12時) 未就園児親子
ヘルスサポートリーダー	・会員数1人 ・令和4年度から若園地区合同実施となり若林・花園元気アップ教室の実施、高岡コミュニティセンターでの「健康ブース設置」にて健康チェック・ヘルサポ募集・野菜350gの掲示啓発等を実施
高齢者クラブ	・4クラブ
ふれあいサロン	・4サロン
元気アップ教室 自主グループ	・自治区：若林、高美町
その他	・友愛訪問高岡ボランティアが主体となって、ふれあい昼食会(身近なご近所との気軽なおしゃべり、仲間づくりなどを目的に集まる昼食会)を毎月第2水曜日に開催していたが、コロナ禍・スタッフの高齢化にて令和3年度に廃止 ・令和4年度 元気アップ教室(交流館)を新規開始

市民意識調査(令和3年度)

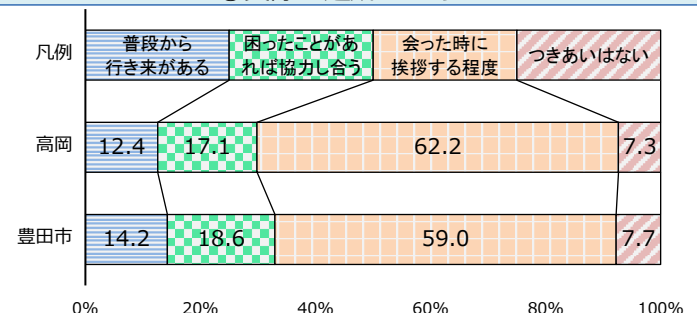
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

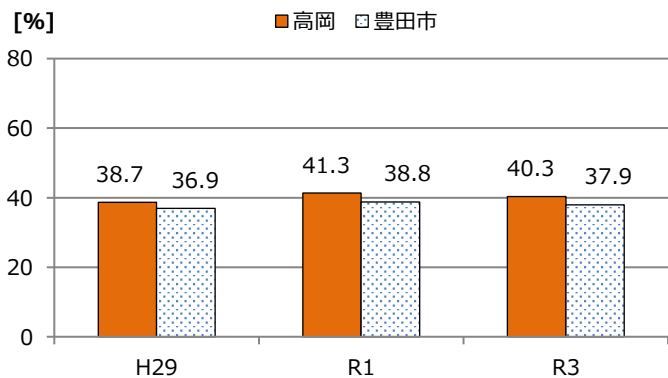


⑮実際の近所づきあい

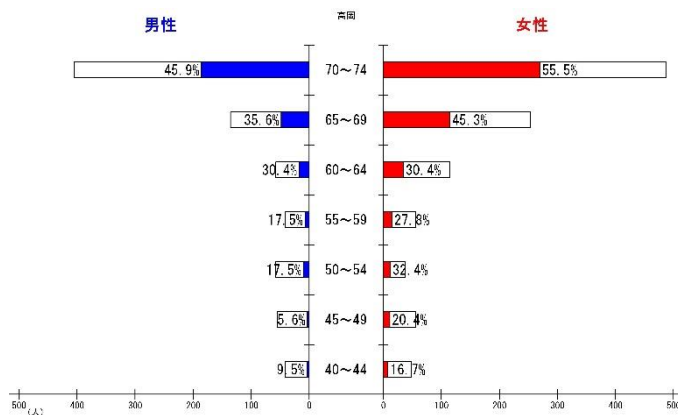


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

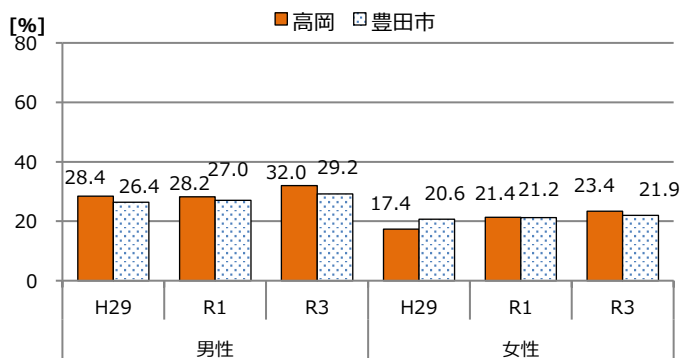
⑫ 健診受診率



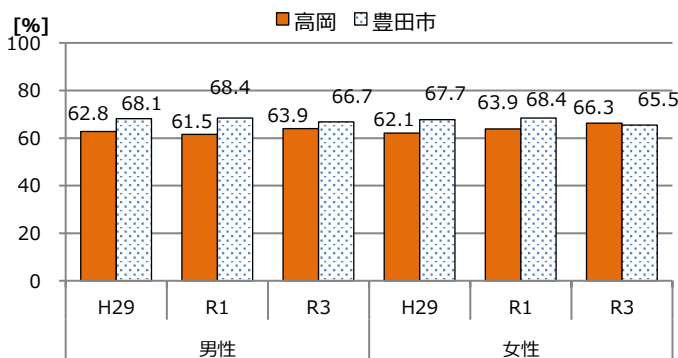
⑬ 年齢別受診者数(対象者数 1,803 人,受診者数 726 人)



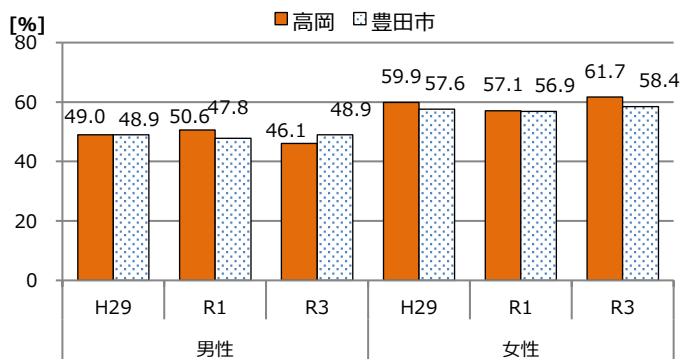
⑭ BMI (25 以上)



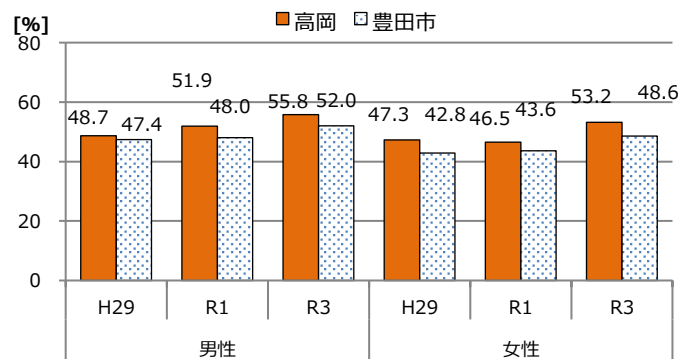
⑮ HbA1c (5.6%以上) *糖尿病の指標の検査項目



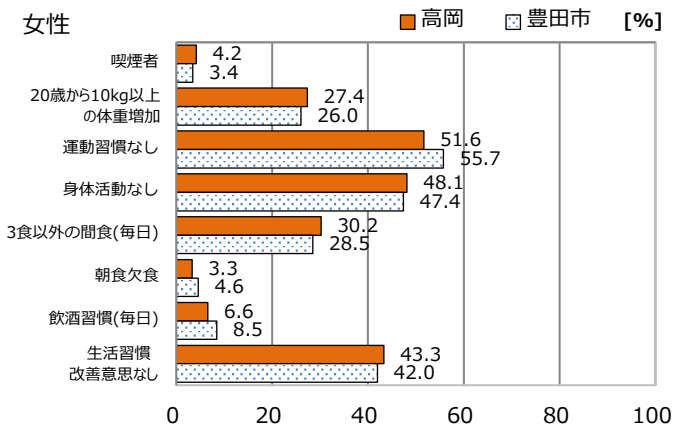
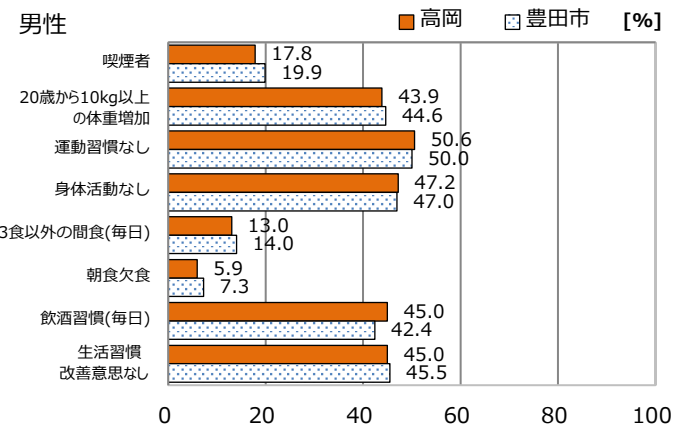
⑯ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



⑰ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



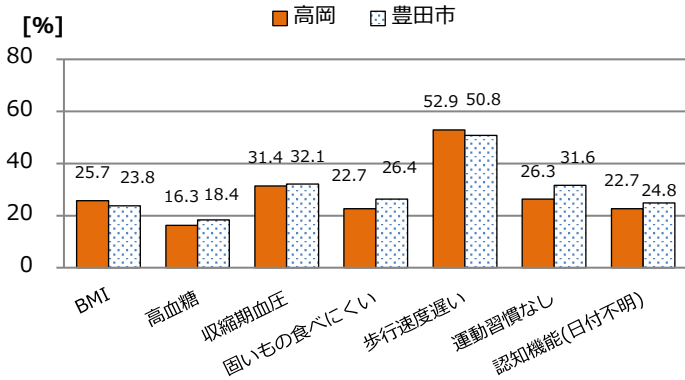
⑱ 問診



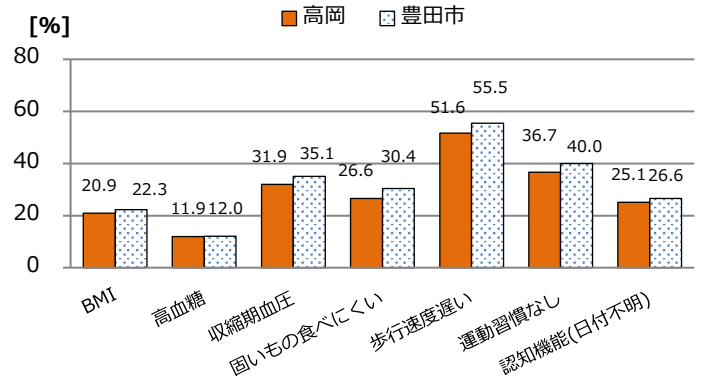
⑲ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	生活習慣改善意思なし
	女性	HbA1c、生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	-
	女性	運動習慣なし、朝食欠食、飲酒習慣(毎日)

㉔男性



㉕女性

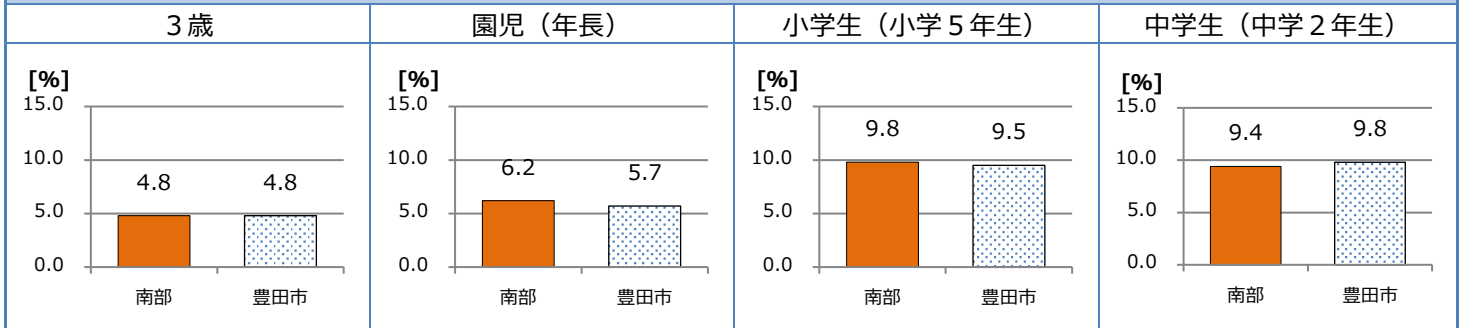


【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上
 【地区の受診者数】 666 人(男性 331 人、女性 335 人)

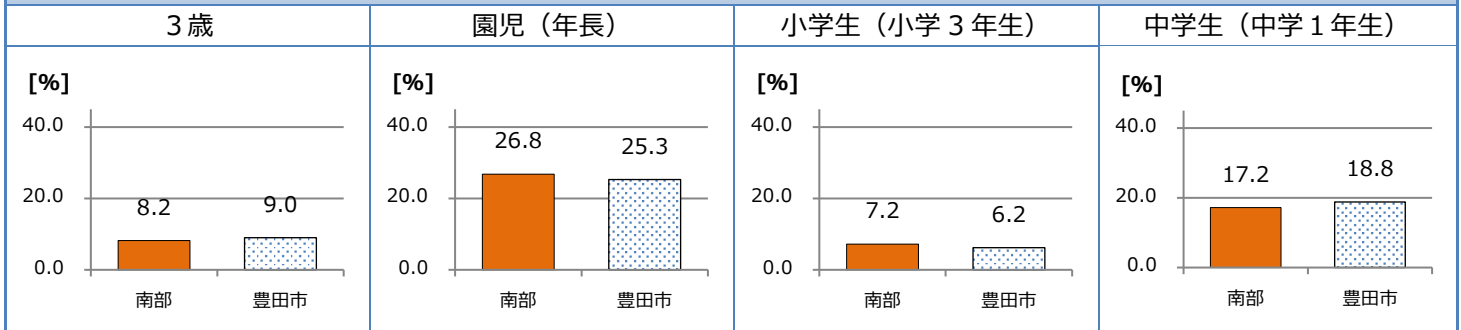
子ども 健康診査(令和3年度)

【南部】 上郷・末野原・高岡・前林・竜神・若園

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査の受診率は経年的に市よりも高い。今後も健康づくりの意識づけのため、継続受診できるよう取組が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査の健診結果では、男女ともに収縮期血圧の該当者割合が高く、年齢調整による国との比較では、男女とも「生活習慣改善意思なし」の該当者割合が高いため、生活習慣病予防の啓発や健康意識を高める取組が必要である。
- ・高齢化率は市と同等であるが、後期高齢者医療制度健康診査の問診結果では、男女とも「運動習慣なし」の該当者割合が市より低いが、元気アップ教室の開催や自主グループ活動の活性化等を通じて、運動習慣のさらなる定着を行っていく必要がある。
- ・市民意識調査の「健康づくりの取組内容」は、「適度に運動する」「外出する」の項目が市より低く、「自治区・地域活動への参加状況」及び「実際の近所づきあい」が市と比べて低い。地域の関係機関と協力しながら、家族や住民ニーズに合わせた健康づくり事業を地域ぐるみで展開・推進していくことが有効的であると考えられる。